

2022年5月11日

立憲民主党熊本県総支部連合会 代表 鎌田 聡様
日本共産党熊本県委員会 委員長 松岡 勝様
社会民主党熊本県連合 代表 今泉 克己様
新社会党熊本県本部 委員長 岩中 伸司様

参院選での川辺川ダム中止・瀬戸石ダム撤去の統一政策採用のお願い

子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会

代表 中島 康

代表連絡先 〒860-0073 熊本市西区島崎 4-5-13

TEL:090-2505-3880 中島 康

日頃、国政・県政の発展のため、ご活躍の段、感謝申し上げます。私どもは、清流球磨川・川辺川を守り、住民主体による川づくり、地域づくりを支援してきた市民グループです。

一昨年7月の球磨川流域における豪雨災害を受け、国土交通省や熊本県は流水型川辺川ダムを中心に据えた球磨川水系河川整備計画の原案を策定し、流域住民を始めとする住民らから意見聴取を終えたところです。あの豪雨災害を経験した後も、住民のダムに対する拒否反応は強く、公聴会等でダム反対の意見が多数出されたことはご承知の通りです。

豪雨災害の被災者に対して「7・4球磨川流域豪雨被災者・賛同者の会」が昨年行ったアンケート結果では、被災者が求める水害対策として最も多いのが「堆積土砂の撤去」45.1%、次に多いのが「山林・山を保全する」40.7%でした。「ダム」に関しては「流水型（穴あき）ダム建設」を望む人は8.1%に対し、その倍以上の21.1%の被災者が、「市房等球磨川流域のダムの撤去」を望んでいます。被災者が求める治水対策はダムではないことは明らかです。

一昨年の豪雨災害で中流域の被害を拡大させた瀬戸石ダムでは、5月6日に貯水が始まり、5月末の再稼働に向け、準備作業が進められています。被災者を始めとする住民の中からも危険な瀬戸石ダムは撤去させるべきという声が出始めています。瀬戸石ダムの撤去を求める署名活動も始まっています。民意が求めているのはダムの存続・建設ではなく、ダムの撤去・建設阻止です。

今年は7月に参議院選挙が行われます。熊本県の最大の政治課題の一つであるダム問題において、住民の側に立って野党が政策を提示することは民主主義の発展にとって非常に重要です。各党の皆様におかれましては、参院選において下記公約・政策を採用していただき、被災者やダム問題に関心を寄せる住民・県民の投票の受け皿を作っていただきますようお願いいたします。

記

1. 熊本選挙区の野党統一候補の選挙公約に「川辺川ダム中止・瀬戸石ダム撤去」を採用していただくこと
2. 県内の野党共闘の統一政策に「川辺川ダム中止・瀬戸石ダム撤去」を採用していただくこと
以上

賛同団体一覧

清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会 共同代表 岐部 明廣

美しい球磨川を守る市民の会 代表 出水 晃

瀬戸石ダムを撤去する会 共同代表 出水 晃、上村 雄一、緒方 俊一郎、本田 進

7・4球磨川流域豪雨被災者・賛同者の会 共同代表 鳥飼 香代子、市花 保

坂本町被災者・支援者の会 代表 本田 進